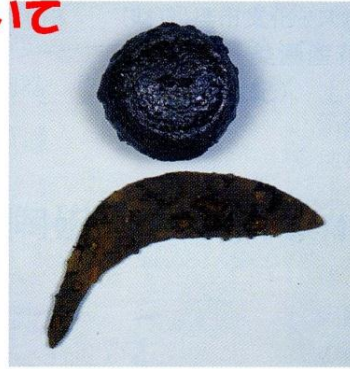


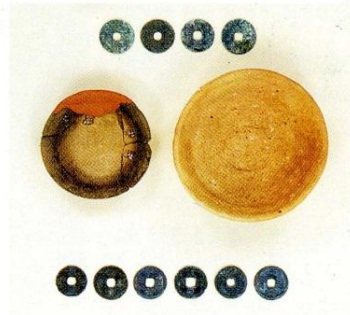
## 戦国時代の船橋市の遺跡

東中山台遺跡群・印内台遺跡群について  
 (『中世の船橋』2002年  
 船橋市郷土資料館 より)



94. 墓に埋葬された鉄製蓋  
 付お歯黒壺と鉄製鎌  
 (15~16世紀) 船橋市印内台遺跡  
 24次出土

お歯黒壺はお歯黒用の鉄漿(かね)を入れるための壺。類似した壺は岩手県一戸城でも出土。鎌は魔除けの刃物して埋葬されたと考えられます。



95. かわらけと中国輸入銭  
 (15世紀) 船橋市東中山台遺跡群  
 8・9次出土

墓の埋葬品。かわらけと共に乳幼児の歯が出土していることから子供の墓と考えられます。



96. 埋葬された馬(15~16世紀頃)  
 船橋市本郷台遺跡 4次出土

手足を折りたたまれた状態で埋葬されていました。10歳前後の雌の馬で、体高は128cm。この馬は武士の愛馬であったと考えられます。甲斐武田氏の館からも体高126cmの14歳の雄馬が同じように埋葬されて見つかっています。



98. 市内出土 中国から輸入された陶磁器

上段左から白磁碗(15世紀) 本郷台遺跡 7次出土、青磁稜花皿底部(15世紀中~) 東中山台遺跡群8・9次出土、染付皿底部片(16世紀) 船橋市峰台遺跡出土、下段左から白磁碗・割高台(15世紀) 東中山台遺跡10次出土、染付皿底部片(16世紀) ヌルギ松遺跡出土



100. 常滑産甕(13~15世紀)

船橋市東中山台遺跡群8・9・10次出土

愛知県の常滑半島で生産され運ばれてきた焼物。下段右から2番目は砥石に転用されています。



97. かわらけ(15・16世紀)  
 船橋市東中山台遺跡群8・9・10次出土



99. 内耳土鍋(15~17世紀初頭)

船橋市東中山台遺跡群8・9次出土

土鍋を下げるために内側に3ヶ所耳がついている。上段右から2番目の鍋は葛西城出土と同タイプ(16末~17世紀初頭)。



101. 瀬戸・美濃産の製品(15~17世紀)

船橋市東中山台遺跡群8・9・10次出土

常滑製品は甕や鉢など大型品であるのに対して、瀬戸・美濃製品は皿・碗・播鉢など小物が主体。愛知県瀬戸市周辺で生産されています。